

Chapter

02

STUDY PLAN-11B
入学生

01.履修申請	025
02.成績表の見方	030
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	031
04.ゼミナール、テーマ別研究、単位認定科目	033
05.コース変更	034
06.卒業見込証明書	034
07.資格取得	035
08.カリキュラム	036

大学ではあらかじめ決められた時間割表のとおり授業を受けるのではなく、全科目の時間割表に載っている科目の中から自分が受けた科目を選び、自分の作った時間割表にもとづき授業を受けます。

ここからは、実際にどのような感じで履修申請をしていけばよいかの目安を簡単に説明します（あくまでも目安ですので、必ずこの通りに申請しないといけないわけではありません）。

(1) 経営学コース1年次における履修申請について

■あらかじめ履修申請されている科目の確認

- ・必修科目と全員履修科目は、あらかじめ履修申請が行われています。
- ・1年次の必修科目は、簿記入門(4単位)、マーケティング入門(2単位)の2科目です。
- ・1年次の全員履修科目は、専門教育科目の入門ゼミナール(2単位)、研究ゼミナール1(2単位)と総合教育科目のコンピュータ・リテラシ(2単位)、表現力基礎演習(2単位)の4科目8単位です。
- ・したがって、1年間の履修制限48単位のうち上記14単位分は申請済みとなりますので、残り34単位分の科目を選択し履修申請をします。
- ・留学生は日本語や日本文化に関連する科目が必修です。1年次には日本語科目4科目4単位、日本文化科目4科目8単位が用意されています。したがって1年次には残り22単位分を選択し履修申請しましょう。

【全員履修科目に関する注意事項】

- ① 全員履修科目は選択科目ですので不合格になっても卒業はできますが、全員に受講してもらいたい重要な科目ですのでしっかりと講義を受けてください。
- ② 研究ゼミナール1では、2年次の研究ゼミナール2の募集を行います。研究ゼミナール1が不合格の場合、仮に希望のゼミに決まっても、登録をはずされます。
- ③ コンピュータ・リテラシと表現力基礎演習は1年次にしか受講することができません。特にコンピュータ・リテラシは一般的なPCの操作法だけでなく、本学のPC演習室を利用する際の注意事項や、本学が提供する様々なサービスの利用法なども学びます。2年次以降はコンピュータ・リテラシの内容を学んだことを前提にコンピュータを利用しますので必ず受講してください。

■総合教育科目の履修申請

- ・1年次は総合教育科目を多く申請するようにしましょう。
- ・卒業までに言語文化科目を8単位以上修得しなければなりません。1年次のうちに4単位以上申請するようにしましょう。
- ・総合教育科目は卒業までに24単位以上修得しなければなりません。語学の選択必修8単位以外に、あと16単位以上修得することが必要です。
- ・コンピュータ・リテラシと表現力基礎演習の4単位分は申請済みですので、それ以外の科目であと8単位以上申請しておけばよいでしょう。

【言語文化科目の注意事項】

- ①基本的に1科目につき1単位ですので、8単位以上をクリアするには8科目以上合格しなければなりません。1年次のうちにある程度単位をとっておかないと、2年次、3年次になって専門教育科目を選択するのが難しくなります。1年次では**4単位以上**を目標にしましょう。
- ②クラス登録制になっていますが、一度登録されたクラスは変更したり取り消したりできませんので慎重に申請してください。
- ③その他の制限事項は、卒業要件単位数の項目数をよく読んでください。

■専門教育科目の履修申請

- ・次に専門教育科目ですが、1年次ではビジネススキル科目に注目します。
- ・ビジネススキル科目は卒業までに8単位修得しなくてはなりません。多くの科目は1科目4単位ですので、2科目修得すれば条件をクリアできます。1年次ではこの8単位をクリアすることを目標にしましょう。
- ・ビジネススキル科目は資格取得を目標とする科目です。これらの科目を受講することで将来に向けて興味のある分野が見えてくるでしょう。1年次では同一分野の科目より、いろいろな分野の科目にチャレンジすることを勧めます。
- ・1年次では8～12単位程度を目安にすればよいでしょう。
- ・その他の専門科目の中から興味のある科目を選びます(4～8単位程度)。Webシラバスを活用し、科目の内容を確認した上で選択しましょう。

【ビジネススキル科目の注意事項】

- ①簿記システムA・B、販売管理A・B、ビジネス外国語A・Bは、それぞれAよりBの方が、同じ種類でよりレベルの高い資格取得を目指す科目です。「B」は2年次以降に履修する方がよいでしょう。
- ②ビジネススキル科目の取得単位のうち8単位を超えたものについては、12単位まで(20-8で差引き12単位)選択科目の卒業要件単位に計算することが出来ますので、積極的に履修しましょう。
- ③単位認定科目のビジネススキルA・Bの単位は、選択必修の8単位には計算されません。しかし、他のビジネススキル科目で既に20単位修得していたとしても、それに関係なく選択科目の単位として計算されます。また、1年間の履修制限48単位にも含まれませんが、4年次になると単位認定ができなくなります。

【1年次の履修申請のチェックポイント】

ここまでの説明で推奨する申請単位は、以下の38～46単位分になります。

- ①必修科目・全員履修科目＝14単位
- ②言語科目＝4単位
- ③その他の総合教育科目＝8単位
- ④ビジネススキル科目＝8～12単位
- ⑤その他の専門教育科目＝4～8単位

・必ず40単位以上、できれば48単位を申請するようにしましょう。

・Webシラバスを活用し、各科目がどのような内容なのかを調べて選択しましょう。

・入門ゼミナールの第1、2回目の授業のときに、みなさんの履修申請状況を担当の教員がチェックします。各自の時間割表を印刷して出席してください。分からないことなどはその時に聞きましょう。

・本館1階の教務課にも相談するとよいでしょう。

(2) 経営学コース2年次以降の履修申請について

- ・2年次からは専門教育科目の多くが履修できるようになります。
- ・研究ゼミナール2(2年次・4単位)、研究ゼミナール3(3年次・4単位)、卒業論文ゼミナール(4年次・8単位)は、1年次の研究ゼミナール1に合格してゼミ所属を決めておかないと履修することができません。
- ・研究ゼミナール2、3、卒業論文ゼミナールは、1年間の履修制限48単位には含まれません。

■あらかじめ履修申請されている科目の確認

- ・2年次に必修科目の現代経営入門(2単位)が開講されます。したがって、2年次の場合は46単位を目標に科目を選択し履修申請を行います。
- ・3年次以降は、あらかじめ履修申請が済んでいる科目はありません。

■総合教育科目の履修

総合教育科目ですが、2年次には、1年次の履修では卒業要件をみたせなかった科目をクリアするようにしましょう。できるだけ2年次で総合教育科目の24単位(言語文化科目8単位と教養教育科目を合わせて)を修得しておきましょう。

3年次以降は、専門科目の単位修得状況を見ながら、レベルの高い外国語科目や興味のある科目を履修するとよいでしょう。

■専門教育科目の履修

- ・ビジネススキル科目以外の専門教育科目については、特に選択必修の制限はありません。
- ・興味のある分野から重点的に履修しても、多くの分野の科目を幅広く選択してもかまいません。しかし、卒業するためには複数分野の科目の単位を修得しないと、卒業要件単位数をみたすことは不可能です。2年次の段階では、興味のある分野をより確かなものにするためにも、多くの分野の科目を受講することをお勧めします。
- ・ソーシャルスキル科目は、就職することの意義や就職活動の際に必要な知識、考え方、心構えなどを学び、将来への就職意識を高めるための科目群です。科目の性質上、定員が設定されていますが、積極的に受講しましょう。
- ・万が一1年次に単位を修得できなかった必修科目や選択必修科目がある場合、2年次で必ず単位を修得するのがポイントです。

ここまで、経営学コース1、2年次の場合を中心に説明してきましたが、1、2年の間に以下のポイントをクリアすることを目標にがんばりましょう。

【1、2年次のクリア目標】

- ①必修科目8単位の修得。
- ②選択必修科目8単位の修得。
- ③言語文化科目8単位を含む総合教育科目24単位の修得（留学生は、日本語科目および日本文化科目16単位を含む24単位）。
- ④①～③条件をクリアした上で合計76単位以上を修得。

- ・これらは3年次終了時に卒業見込みを判定するときの、単位に関する最低条件です。
- ・3年次後期には実際に就職活動に入り、大学での勉強と就職活動を両立させることが大変になってきます。
- ・4年次になったときに卒業要件単位を修得できていないと、講義に出席するか就職活動に行くかを悩むこととなります。
- ・就職活動のために講義を休みがちで不合格になり、その単位が不足したために留年することもあります。
- ・そのような事態を避けるためにも、2年次までに修得できる単位はしっかり修得してください。必修や選択必修など制限のある科目は4年次に残さないようにして、余裕を持って就職活動にのぞめるようにしましょう。

(3) アパレル産業コース・観光ビジネスコースの履修申請

- ・アパレル産業コース・観光ビジネスコースの皆さんは必修科目が多いです。単位取得にがんばって取り組んでください。
- ・各配当年次に不合格になると、翌年度以降に再履修することとなります。講義科目が増え、非常に厳しくなっていますので、配当年次にしっかりと勉強し確実に単位を修得できるようにしましょう。
- ・なお、アパレル産業コース・観光ビジネスコースの詳細な履修計画については、各コース生向けのガイダンスの際に資料を配布します。

01. 履修申請

- ・「履修申請」とは、自分が受けたい授業科目を申込みことです。
- ・「履修申請」は、本年度の学習方針を決定するだけでなく、次年度以降の履修にも影響しますので、履修制限等をよく読んで、自分の時間割の計画を立てて申請してください。
- ・大学では必修科目等を除いて、一定の枠の中から受けたい科目を選択できるようになっています。
- ・申請期限までに所定の手続きを行わなかったり、間違ったりすると、授業に出席して、試験を受けても単位が認められませんので、慎重に行ってください。
- ・申請の手順については、別に配布するWeb履修申請ガイドブックをご覧ください。

(1) 履修計画における注意点

- ①履修する科目を選ぶために、事前に「Webシラバス」をよく読んでください。
- ②各時間帯に開講されている授業科目の中から自分が受けたい科目を選び、選んだ科目を各自で履修申請してください。学生1人1人の時間割の内容は、同じ学部・学科であっても違ったものになります。
- ③同じ学部・学科でも、コースによって選択すべき科目が異なります。各コースの履修要件、卒業要件をよく読んで履修計画を立ててください。
- ④卒業資格最低単位数（卒業要件単位数）を充足できるよう重点をおいてください。
- ⑤申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラス、入門ゼミナール、演習等のクラスを確認してください。
- ⑥各ガイダンスには必ず参加してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

(2) 手続方法

① 履修計画を立てる

配付資料に基づき履修計画を立て、Web履修申請ガイドブック巻末にある「時間割下書き用紙」に記入します。また、履修したい講義がクラス登録科目である場合には、同じく巻末にある「クラス登録応募下書き用紙」に記入します。講義科目の中には、学籍番号や学年により履修が制限されているもの、履修する講義が予め指定されているもの、抽選により履修者を決定するもの、プレースメントテストの結果により履修指示が為されるもの等、さまざまなタイプがあります。これらの情報は、講義時間割の備考欄等に記載されています。

② 登録手続き（3つの期間（順序）に分けて行う）

a. クラス登録科目応募

抽選により履修者を決定するタイプの科目は、履修申請に先立ち応募受付を行い、抽選処理を行います。抽選の結果、当選した場合に限り履修することができます。なお、当選した講義（クラス）は履修を取り消すことができません。詳細は、巻末の「クラス登録応募下書き用紙」をご覧ください。

b. 本申請

履修計画（下書きした時間割）に基づいて、コンピュータを操作し講義を登録してください。申請画面を開くと履修可能な講義が表示されています。（内容は学生ごとに異なります。）同時に、抽選により受講を許可された講義と既決履修講義が表示されています。これらの講義は、取り消すことができません。なお、期間内なら何度でも登録内容を変更することができます。登録が完了したら内容を印刷し、保管しておいてください。

c. 修正

登録した講義を修正（追加、削除）することができます。但し、抽選により履修が決定した講義、既決履修講義は取消できません。修正が完了したら、必ず登録内容を印刷してください。

【クラス登録の要領について】

- ・講義時間割の科目名左側に「●」「○」「◎」印がある講義の履修を希望する場合は、本申請に先立ちクラス登録が必要です。
- ・クラス登録は、応募受付⇒抽選⇒発表（本申請時には、当選した科目が画面に自動表示されています。）の順で行われます。
- ・当選した講義はキャンセルすることができません。また、はずれた方は、本申請期間または修正期間に残席がある場合に限り先着順で登録できます。

③ 言語文化科目

- ・担当教員は、後日掲示でお知らせします。決定した担当教員のクラスで履修申請をしてください。
- ・TOEICクラスの受講は、事前に実施した学力テストの基準に達した学生に限りです。
- ・第1希望にもれた場合は、同一曜日・時限の別のクラスに割当てられることがあります。
- ・新入生の英語については、プレースメントテストの結果発表に従って履修申請してください。履修を希望しない場合は、予め教務課に申し出てください。

④ 身体科学科目

- ・再履修者は、再クラスでの登録となります。
- ・リハビリコースクラスは、怪我などで運動に制限がある学生が対象となります。
- ・体育研究室からの注意事項は次の通りです。

〈体育研究室からのお願い〉

受講時の注意

- ① 出欠席を厳しくとります。身体科学科目が半期科目（前期で終了または後期で終了）の場合は、半年に3回までの欠席は認めますが、4回以上欠席した学生は不合格となり単位は認定されません。
- ② 「スポーツ科学」や「運動科学」は、講義日の3/4以上の出席が必要です。
- ③ 「スポーツ科学実習」について
 - ・服装は、運動服であれば高校で使用したもので差し支えありません。
 - ・運動服には、白い布に学籍番号と氏名を書いて左腕と右尻に縫い付けてください。
 - ・体育館内のコースを受講する学生は、運動靴に赤線を入れて室内専用に使ってください。
 - ・テニスコースを受講する学生は、テニスシューズを使用してください。
 - ・ロッカー使用の場合には、各自指定番号の鍵を使用し、授業時間ごとに借り出し、授業終了後ただちに返却してください。
- ④ 本科目の受講の指示は掲示で行いますから、体育館の掲示板を見るよう心掛けてください。
- ⑤ 前・後期両方とも同じ種目を取らないようにしてください。ただし、抽選で前・後期とも同じ種目になった場合は受講してください。
- ⑥ 「ボウリング」、「ゴルフ」については、ゲーム代等別途費用がかかります。

(3) 自由科目

他学部(自分の所属する学部以外)および他学科(自分の所属する学科以外)の専門教育科目、(人間環境学部は展開科目)を、卒業までに30単位まで履修することができます。そのうち12単位までを、専門教育科目の選択科目として、卒業要件単位に算入することができます。(これを「自由科目」と称します。)ただし、履修の認められない科目がありますので、下表で確認してください。

自由科目を履修したい人は、Webシラバスをよく読んで選択してください。

自由科目は、Web履修申請面で確認できる(表示されている)科目から選択してください。

商学科

他学部	他学科	卒業要件に認められる単位	自由科目として扱わない科目
人間環境	文化コミュニケーション、生活環境、スポーツ健康	12単位	製図、演習、実験、実習、卒業研究 ※その他各学科の事情等により除外する科目
——	商		
経済	経済、国際経済		
工	機械工、交通機械工、都市創造工、電子情報通信工、情報システム工、建築・環境デザイン		

(4) 履修制限

経営学科には以下の制限がありますので、注意してください。

11B学生に適用

1年間に履修できる単位数	最大48単位 ただし、以下の科目は除きます。 ①「研究ゼミナール2」、「研究ゼミナール3」、「卒業論文ゼミナール」 ②教員免許取得に係わる科目のうち、「教科に関する科目」の「職業指導」、 ならびに「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」※	
学年による科目の制限	1年次:1年次配当科目を履修することができます。 2年次:1、2年次配当科目を履修することができます。 3年次:1～3年次配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。	
総合教育科目	教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ■「コンピュータ・リテラシ」および「表現力基礎演習」は全員履修科目のため、初年度に必ず履修してください。ただし、留学生は「表現力基礎演習」を履修しなくてもかまいません。 ■留学生は、「日本事情1・2」、「日本の社会と文化1・2」を必修科目とします。
	言語文化科目	<ul style="list-style-type: none"> ■初修外国語(独・仏・中・朝)を履修する場合は、最初に必ず「入門(基礎)1・2」を履修してください。(中上級科目との同時履修可) ■英語については、プレイスメントテストの結果により、初年度のみ習熟度別クラスに登録されます。履修を希望しない学生は、プレイスメントテストを受けてはいけません。留学生に英語プレイスメントテストは実施しません。 ■留学生は、「日本語読解1・2」「日本語作文1・2」、「上級日本語読解1・2」、「上級日本語作文1・2」の8単位を必修とし、母国語を履修することはできません。
専門教育科目	ゼミナール科目	<ul style="list-style-type: none"> ■「入門ゼミナール」、「研究ゼミナール1」、「研究ゼミナール2」(経営学コースは除く)は全員履修科目のため、配当年次に必ず履修してください。 ■「卒業論文ゼミナール」を履修するためには「研究ゼミナール3」を、「研究ゼミナール3」を履修するためには「研究ゼミナール2」を、「研究ゼミナール2」を履修するためには「研究ゼミナール1」を修得しておかなければなりません。 ■「研究ゼミナール2」、「研究ゼミナール3」および「卒業論文ゼミナール」は、同一教員で履修しなければなりません。
	コース特設科目	<ul style="list-style-type: none"> ■コースの特設科目群については、それぞれに対応したコースでしか履修することができません。
その他	既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。	

※詳しい科目については教職課程履修ガイドブックを参照してください。

02. 成績表の見方

- ・発表される「成績表」は、当該年度の前期末または学年末までの成績です。
- ・単位左側の文字の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を表わします。
- ・成績欄右寄りの評価は「今年度の成績」、中央の評価は「昨年度までの成績」を表わします。
- ・評価・認定は、「S」「A」「B」「C」「D」「T」で判定します。

修得単位数欄

卒業要件単位数	卒業に必要な単位数
修得卒業要件単位数	現在修得している全ての単位のうち卒業要件としてカウントされた単位数
修得総単位数	現在修得している全ての単位数

進級・卒業判定欄

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業	4留
1年	2年	3年	4年	卒業できる	卒業延期

来年度欄（3年生以上）

卒見証発行	有	無
	卒業見込証明書発行可	卒業見込証明書発行不可

履修制限メッセージ

S1	来年度「研究ゼミナール2」を履修することができません
S2	来年度「研究ゼミナール3」を履修することができません
S3	来年度「卒業論文ゼミナール」を履修することができません

03. 卒業要件単位数 (外国人留学生も共通)

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

①4年間 (編入生は2年間) 以上在学

休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年 (編入生は2年) で卒業することができません。

②学科で定められた卒業要件単位数124単位以上 (編入生は別途定める) を修得

カリキュラム上、区分ごとに卒業に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

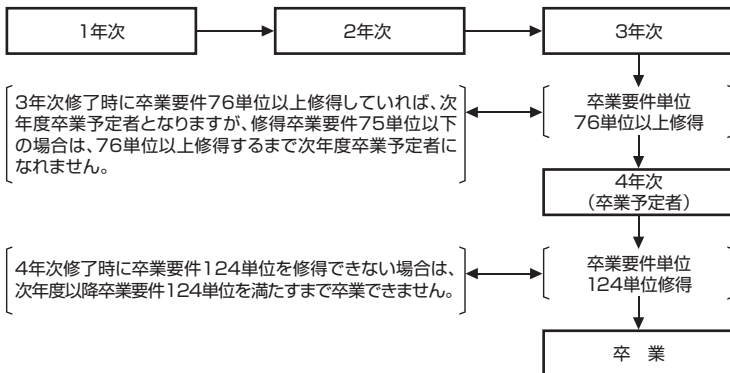
(1) 卒業要件単位数

総合教育科目	教養教育科目	リテラシ	8単位 (留学生のみ)	24単位以上	124単位	学士 (経営学)
		人文科学				
		社会科学				
		自然科学				
		学際領域				
	日本語文化	8単位 (留学生のみ)				
言語文化科目	英語	8単位以上				
	初修外国語					
	日本語		8単位 (留学生のみ)			
身体科学科目						
専門教育科目	経営学コース	必修8単位、選択必修8単位、選択68単位以上 (自由科目12単位を含む)		84単位以上		
	アパレル産業コース 観光ビジネスコース	必修21単位、選択必修8単位、選択55単位以上 (自由科目12単位を含む)				
4年以上在学						

(2) 進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、年間48単位 (研究ゼミナール2・3、卒業論文ゼミナール、教職科目等を除く。) を上限とする履修制限がありますので、計画的に修学してください。

— 進級および卒業までの流れ —



(3) 卒業要件単位の履修要件

【総合教育科目】 24単位以上

①必修科目（卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。）

留学生以外の学生に必修科目はありません。留学生は、教養教育科目分野の日本文化科目群「日本事情1」、「日本事情2」、「日本の社会と文化1」、「日本の社会と文化2」4科目8単位、言語文化科目分野の日本語科目群「日本語読解1」、「日本語読解2」、「日本語作文1」、「日本語作文2」、「上級日本語読解1」、「上級日本語読解2」、「上級日本語作文1」、「上級日本語作文2」8科目8単位を必ず修得してください。

②選択必修科目（特定の科目群から指定された単位を修得します。）

言語文化科目分野から、8単位を修得します。複数の言語も卒業要件単位に入りますが、初修外国語は最初に必ず「入門（基礎）1および2」を履修しなければなりません。留学生は、履修しなくてもかまいません。

③選択科目（必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。）

①②以外に、16単位以上（留学生は8単位以上）を修得してください。制限により履修できない科目もあります。

【専門教育科目】 84単位以上

—経営学コース—

①必修科目（卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の履修コース欄に○印のついた科目です。）

専門基礎科目群から「マーケティング入門」、「簿記入門」、「現代経営入門」の3科目8単位を必ず修得してください。

②選択必修科目（特定の科目群から指定された単位を修得します。）

ビジネススキル科目群（「ビジネススキルA・B」を除く）11科目から8単位を修得してください。8単位を超えて修得した単位は、8単位の他に12単位まで選択科目の単位に入ります。

③選択科目（必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。）

①②以外に、68単位以上を修得してください。

—アパレル産業コース—

①必修科目（卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の履修コース欄に○印のついた科目です。）

専門基礎科目群から「マーケティング入門」、「簿記入門」、「現代経営入門」の3科目8単位を、アパレル産業コース特設科目群から全11科目13単位、計21単位を必ず修得してください。

②選択必修科目（特定の科目群から指定された単位を修得します。）

ビジネススキル科目群（「ビジネススキルA・B」を除く）11科目から8単位を修得してください。8単位を超えて修得した単位は、8単位の他に12単位まで選択科目の単位に入ります。

③選択科目（必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。）

①②以外に、55単位以上を修得してください。

—観光ビジネスコース—

①必修科目（卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の履修コース欄に○印のついた科目です。）

専門基礎科目群から「マーケティング入門」、「簿記入門」、「現代経営入門」の3科目8単位を、観光ビジネスコース特設科目群から全7科目13単位、計21単位を必ず修得してください。

② 選択必修科目 (特定の科目群から指定された単位を修得します。)

ビジネススキル科目群 (「ビジネススキルA・B」を除く) 11科目から8単位を修得してください。8単位を超えて修得した単位は、8単位の他に12単位まで選択科目の単位に入ります。

③ 選択科目 (必修・選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)

①②以外に、55単位以上を修得してください。ただし、観光ビジネスコース特設科目群のうち、指定された16科目については、12単位を超えて卒業要件単位に算入することはできません。

※総合教育科目(24単位以上)、専門教育科目(84単位以上)の最低要件単位は合計108単位です。
卒業要件124単位に不足する16単位については、各区分の最低要件単位数を超えた単位で補ってください。

04. ゼミナール、テーマ別研究、単位認定科目

(1) ゼミナール科目

- ・経営学科では、ゼミナールという科目(選択科目)を設けています。
- ・ゼミナールは、各自が関心や興味を持ち、より深く研究したいと思う専門分野について、指導教員やゼミ仲間とともに研究する科目です。
- ・少人数で構成されるため、講義科目に比べて発展的な研究を行ったり、親密な人間関係が形成できたりします。
- ・また、ゼミナールを通じた勉強や卒業論文の作成は、大学生活において特色のある取り組みを行っていると、就職活動や進学の場面で役立つことがあります。
- ・ゼミナールの所属決定は、各自の志望理由や成績等を考慮した上で、担当教員が行います(1年次の1月予定)。
- ・ゼミナールを志望する学生は、所定の方法・期限を守り申込みを行ってください。

科目名	配当年次	必/選	備 考
入門ゼミナール	1年次	選 択	全員履修※1
研究ゼミナール1	1年次	選 択	全員履修※1
研究ゼミナール2	2年次	選 択	全員履修※1(経営学コースは除く) 「研究ゼミナール1」を修得していなければ、履修することができません。※2
研究ゼミナール3	3年次	選 択	「研究ゼミナール2」を修得していなければ、履修することができません。※2
卒業論文ゼミナール	4年次	選 択	「研究ゼミナール3」を修得していなければ、履修することができません。※2

※1: 全員履修科目は、配当年次に履修してください。

※2: 「研究ゼミナール2・3」および「卒業論文ゼミナール」は、同一教員で行います。

(2) テーマ別研究科目

- ・特殊講座A～Eの5科目用意されており、不定期に様々なテーマで講義が行われます。
- ・注意しなくてはいけないのは、ある年度に特殊講座Aに合格し単位を修得している場合、他の年度に違うテーマで開講された場合であっても、再度特殊講座Aを履修することはできません。
- ・修得した単位は、選択科目の単位数として計算されます。
- ・カリキュラム表の配当年次は、すべて1年前期になっていますが、内容によっては履修できる年次に制限を付ける場合があります。
- ・Webシラバス上では、科目名は次のように表示されます。

例:特殊講座Aの場合・・・特殊講座A(実際に行われるテーマ名)
履修するときはテーマ名や内容をシラバスでしっかり確認してください。

(3) 単位認定科目

・専門教育科目の中で、「ビジネススキルA・B」、「インターンシップ」、「ボランティア」の4科目は、履修申請を必要としない単位認定科目です。

・卒業見込み判定の関係上、4年次には単位認定することはできません。

① ビジネススキルA・B

・ビジネススキルA・Bは、学科が指定する資格を取得した学生に対し単位を認定する科目です。1年次～3年次終了までの間に所定の手続きを行ってください。

・認定された単位は、選択科目の卒業要件単位として加算されます。(選択必修8単位には加算することはできません。)単位数は、1科目当たり2単位の合計4単位までです。

・指定の資格の種類および手続き方法については、別途学科より案内(掲示)します。

② インターンシップ

・インターンシップは、学科が指定する受入先企業で実際の業務を見聞き、経験するための科目です。2年次～3年次終了までの間に所定の手続きを行ってください。

・認定された単位は、選択科目の卒業要件単位に加算されます。

・手続き方法については、別途学科より案内(掲示)します。

③ ボランティア

・学科が指定するボランティアプログラムを経験する科目です。2年次～3年次終了までに所定の手続きを行ってください。

・認定された単位は、選択科目の卒業要件単位に加算されます。

・手続き方法については、別途学科より案内(掲示)します。

05. コース変更

経営学科には「経営学コース」と「アパレル産業コース」および「観光ビジネスコース」があり、毎学年の初め(履修申請時まで)に「アパレル産業コース」あるいは「観光ビジネスコース」から「経営学コース」へのコース変更に限り認められます。「経営学コース」から「アパレル産業コース」あるいは「観光ビジネスコース」へのコース変更は認められません。

なお、コース変更した場合、アパレル産業コース特設科目あるいは観光ビジネスコース特設科目で修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができます。

06. 卒業見込証明書

卒業見込証明書の発行条件は、以下のとおりです。

- ① 3年次修了時において、既に卒業要件単位を124単位以上修得している。[4月1日以降発行]
- ② 4年次に履修申請した単位の修得によって卒業要件単位124単位を充足できる。[5月上旬発行]

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機(本館1階、13号館1階)を利用してください。

07. 資格取得

本学を卒業、または特定の科目を修得することによって得られる資格・免許（あるいは一部免除）を一覧表にしましたので、履修コースの選択や履修科目の参考にしてください。また、他にも卒業後の実務経験で得られる資格（要申請）、実務経験により受験資格が得られる資格、受験科目の一部が免除される資格など多数あります。それら資格（免許）の職務内容や取得方法に関しては、教育支援センター（5号館1階）で相談してください。

(1) 教員免許状

免許（資格）の種類	対象学科	取得の要件
高等学校教諭一種免許状（商業）	経営学科	それぞれの免許に定められた教職教科専門科目と教職専門科目を修得した者（詳細は教職ガイドランスで説明します）。

(2) 特定の科目を修了することにより取得できる資格

資格の種類	認定の内容	対象学部	取得の要件
社会保険労務士	受験資格	全学部	卒業要件に必要とする62単位以上修得した者

(3) 本学実施の資格取得試験など

資格の種類	対象学部	取得の要件・その他
日本商工会議所認定簿記検定試験2・3・4級	全学部	試験合格（年3回実施されますが、本学では6月と11月の年2回を学内で実施します。申込方法は、掲示板でお知らせします。）
ガス溶接技能者	全学部	ガス溶接技能講習修了

08. カリキュラム

(1) 総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時間 数				備 考
				1年次	2年次	3年次	4年次	
				前 期	後 期	前 期	後 期	
総合教育科目	リテラシ	コンピュータリテラシ	2					全員履修科目
		表現力基礎演習	2		2			全員履修科目
	人文科学	文 学	2		2			
		哲 学	2		2			
		論 理 学	2		2			
		心 理 学	2		2			
		人文科学特殊講義	2		2			
	社会科学	日 本 国 憲 法	2		2			
		現 代 の 政 治	2		2			
		近 現 代 史	2		2			
		地 理 学	2		2			
	自然科学	社会科学特殊講義	2		2			
		宇 宙 科 学	2		2			
		環 境 科 学	2		2			
		生 命 科 学	2		2			
		文系のための数学	2		2			
		文系のための統計学	2		2			
		自然科学特殊講義	2		2			
	学際領域	平 和 学	2		2			
		時 事 問 題	2		2			
		道 徳 と 現 代 倫 理	2		2			
		科 学 技 術 史	2		2			
		学際領域特殊講義	2		2			
	日本文化	日 本 事 情 1	②		2			留学生向け科目
日 本 事 情 2		②		2			留学生向け科目	
日 本 の 社 会 と 文 化 1		②		2			留学生向け科目	
日 本 の 社 会 と 文 化 2		②		2			留学生向け科目	
人間教育	生 涯 学 習 論	2			2		教職課程科目	
	人 権 教 育	2			2		教職課程科目	

区分	科目	単位	最低単位数	卒業資格	週時間数				備考			
					1年次	2年次	3年次	4年次				
					前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期				
総合 言語 教育 文化 科目	英語	英語(Listening&Speaking)1	1	8以上 (24以上)	2					(集中)		
		英語(Listening&Speaking)2	1			2						
		英語(Listening&Speaking)3	1				2					
		英語(Listening&Speaking)4	1					2				
		TOEIC上級(Listening)1	1				2					
		TOEIC上級(Listening)2	1					2				
		英語(Reading&Writing)1	1			2						
		英語(Reading&Writing)2	1				2					
		英語(Reading&Writing)3	1					2				
		英語(Reading&Writing)4	1						2			
		TOEIC上級(Reading)1	1					2				
		TOEIC上級(Reading)2	1						2			
		英語総合(上級)1	1								2	
		英語総合(上級)2	1									2
	英語海外研修	2					2	2				
	初修 外国語	ドイツ語入門(基礎)1	1			2						
		ドイツ語入門(基礎)2	1				2					
		ドイツ語入門(会話)1	1			2						
		ドイツ語入門(会話)2	1				2					
		ドイツ語初級1	1					2				
		ドイツ語初級2	1						2			
		ドイツ語総合1	1								2	
		ドイツ語総合2	1									2
		ドイツ語海外研修	2					2	2			
		フランス語入門(基礎)1	1			2						
		フランス語入門(基礎)2	1				2					
		フランス語入門(会話)1	1			2						
		フランス語入門(会話)2	1				2					
フランス語初級1		1				2						
フランス語初級2	1					2						
フランス語総合1	1						2					
フランス語総合2	1							2				
フランス語海外研修	2				2	2						

注) 総合教育科目の履修要件

- イ 「表現力基礎演習」は留学生については随意選択科目とする。
- ロ 1年次配当の英語についてはプレースメントテストを実施し、その結果に基づいて習熟度別にクラスを分ける。
ただし英語の2年次および3年次配当科目については、この限りではない
- ハ 初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語)は複数の言語を卒業要件単位に算入することも可能とする。
ただし各言語は必ず最初に「入門(基礎)1」および「入門(基礎)2」を履修しなければならない。
- ニ 留学生には「日本文化」の4科目8単位および「日本語」の8科目8単位を必修とする。
なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することは出来ない。
- ホ 留学生には英語のプレースメントテストを実施しない。

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

区分	科目	単位	履修コース		最低単位数	卒業資格	週時間数				備考	
			経営学	アパレル産業			観光ビジネス	1年次	2年次	3年次		4年次
								前・後期	前・後期	前・後期		前・後期
専門教育科目	経営関連科目	経営診断論	2					2				
		技術生産管理論	2					2				
		企業戦略論	2							2		
		事業戦略論	2								2	
		経営立地論	2						2			
		マーケティング論	2						2			
		ベンチャービジネス論	2							2		
		イノベーション経営論	2							2		
		ヒューマンリソースマネジメント	2								2	
		非営利組織の経営	2							2		
	会計関連科目	会計学総論	2						2			
		税理士簿記A	2					2				
		税理士簿記B	2					2				
		工業簿記	2						2			
		現代会計論	2						2			
		会計監査論	2						2			
		コンピュータ会計	2							2		
		国際会計論	2							2		
		原価計算論	2							2		
		税務会計論	2							2		
	経営情報関連科目	財務会計論	2							2		
		情報処理演習A	2				2					
		情報処理演習B	2					2				
		情報処理概論	2				2					
		インターネット論	2					2				
		eコマース論	2						2			
		経営情報論	2							2		
		情報管理論	2							2		
		ビジネス情報演習	2							2		
		マーケット情報演習	2								2	
		データ解析演習	2								2	
		市場調査演習	2								2	
情報システム開発論	2								2			
プログラミング演習A	2								2			
プログラミング演習B	2								2			

(観光ビジネスコース必修21・選択必修8・選択55以上 合計84以上)
 (アパレル産業コース必修21・選択必修8・選択55以上 合計84以上)
 (経営学コース 必修8・選択必修8・選択68以上 合計84以上)

区分	科目	履修コース 単位	卒業資格 最低単位数				週 時 間 数								備考	
			経営学	アパレル産業	観光ビジネス	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	経済・法律関連科目	経済学	2					2								
		民法	2					2								
		商法	2					2								
		会社法	2						2							
		所得税法	2						2							
		法人税法	2						2							
		経営法務	2							2						
	テーマ別研究科目	税法概論	2						2							
		特殊講座 A	2				2									
		特殊講座 B	2				2									
		特殊講座 C	2				2									
		特殊講座 D	2				2									
		特殊講座 E	2				2									
					(観光ビジネスコース必修21・選択必修8・選択55以上 合計84以上) (アパレル産業コース必修21・選択必修8・選択55以上 合計84以上) (経営学コース 必修8・選択必修8・選択68以上 合計84以上)											

区分	科目	単位	履修コース			卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考	
			経営学	アパレル産業	観光ビジネス		1年次	2年次	3年次	4年次		
							前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期		
専 門 教 育 科 目	アパレル産業入門	2	-	○	-		2					演習科目
	アパレル産業国内実地研修	1	-		-		1					集中(演習科目)全員履修
	海外研修	2	-		-			2				集中(演習科目)全員履修
	テキスタイル素材基礎研修	1	-	○	-		2					集中(演習科目)
	アパレル基礎知識A	1	-	○	-		2					集中(演習科目)
	アパレル基礎知識B	1	-	○	-		2					集中(演習科目)
	アパレル基礎知識C	1	-	○	-			2				集中(演習科目)
	デザイン基礎研修A	1	-	○	-		2					集中(演習科目)
	デザイン基礎研修B	1	-		-			2				集中(演習科目)
	アパレルCAD研修	2	-	○	-		2	2				集中(演習科目)
	アイテム製作基本A	1	-	○	-		2					集中(演習科目)
	アイテム製作基本B	1	-	○	-		2					集中(演習科目)
	アイテム製作応用	1	-		-				2			集中(演習科目)全員履修
	フォトスタジオ基礎研修	1	-	○	-		2					集中(演習科目)
	着物文化基礎研修	1	-		-				1			集中(演習科目)全員履修
	ファッション関連外国語基礎	1	-		-			2				集中(演習科目)全員履修
	関連イベント研修	1	-	○	-		1					集中(演習科目)
	基礎技術指導研修A	1	-		-			1				集中(演習科目)全員履修
	基礎技術指導研修B	1	-		-				1			集中(演習科目)全員履修
	アパレル関連業務研修	2	-		-			2				集中(演習科目)全員履修
	関連資格研修A	2	-		-			2				集中(演習科目)
	関連資格研修B	2	-		-				2			集中(演習科目)
	特別研修A	2	-		-				2			集中(演習科目)
特別研修B	2	-		-					2		集中(演習科目)	
特別研修C	2	-		-					2		集中(演習科目)	
自由研究A	2	-		-			2				集中(演習科目)	
自由研究B	2	-		-				2			集中(演習科目)	
自由研究C	2	-		-				2			集中(演習科目)	

(観光ビジネスコース必修21・選択必修8・選択55以上 合計84以上)
 (アパレル産業コース必修21・選択必修8・選択55以上 合計84以上)
 (経営学コース 必修8・選択必修8・選択68以上 合計84以上)

区分	科目	単位	履修コース			卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考		
			経営学	アパレル産業	観光ビジネス		1年次	2年次	3年次	4年次			
							前、後期	前、後期	前、後期	前、後期			
専 門 教 育 科 目	観光産業論	2	-	-	○	2					全員履修 全員履修 全員履修 集中 全員履修 全員履修 集中 集中 集中 全員履修 全員履修 全員履修 全員履修 集中・全員履修(直前対策) 集中(オムコバス) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎		
	観光立国推進論	2	-	-			2						
	観光産業最前線	2	-	-	○			2					
	旅行業経営論	2	-	-	○	2							
	国内旅行企画	2	-	-		2							
	海外旅行企画	2	-	-				2					
	シティホテルビジネス論	1	-	-	○	2							
	ブライダルビジネス論	2	-	-			2						
	旅行地理入門	2	-	-	○	2							
	ビジネスマナー	2	-	-	○	2							
	観光英会話初級	1	-	-		2							
	航空産業論	2	-	-	○			2					
	鉄道産業論	2	-	-				2					
	日本の暮らしと文化	2	-	-				2					
	国内旅行研修	2	-	-		2							
	リゾートホテル論	1	-	-			2						
	海外旅行研修	2	-	-				2					
	観光英会話中級	1	-	-			2						
	観光英会話上級	1	-	-				2					
	旅行業法・約款	1	-	-			2						
	国内旅行実務A	1	-	-			2						
国内旅行実務B	1	-	-			2							
国内観光地理	1	-	-			2							
試験対策講座	1	-	-			2							
ビジネスファッションメーキャップ講座	1	-	-			2							
観光特別研修A	2	-	-			2							
観光特別研修B	2	-	-			2							
観光自由研究A	1	-	-			2							
観光自由研究B	1	-	-			2							
観光自由研究C	1	-	-			2							
小 計	278			84以上		62	48	97	59	19	12	4	4
総合教育科目、専門教育科目合計	406			124以上		116	100	131	69	29	22	4	4

注) 専門教育科目の履修要件

- イ 備考欄中の◎印は単位認定科目とし、3年次後期(冬期休業開始まで)までに申し出たものは、学科の判断に基づき、単位認定を受けることができる。
- ロ 履修コース選択は、毎学年初めの履修申請時に行い、アパレル産業コースから経営学コースへの変更または観光ビジネスコースから経営学コースへの変更に限り認めるものとし、経営学コースからアパレル産業コースまたは観光ビジネスコースへの変更は一切認めない。また、履修コースの変更は、4年次の履修申請時までとする。
- ハ アパレル産業コースの者に限りアパレル産業コース特設科目を履修することができ、履修コース変更前に修得したアパレル産業コース特設科目の単位は、選択科目として卒業要件単位数に算入することができる。
- ニ 観光ビジネスコースの者に限り観光ビジネスコース特設科目を履修することができ、履修コース変更前に修得した観光ビジネスコース特設科目の単位は、選択科目として卒業要件単位数に算入することができる。

Chapter

02

STUDY PLAN-09B
編入生

01.履修ガイド	045
02.履修制限	046
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	047
04.ゼミナール科目	049
05.卒業見込証明書	049
06.カリキュラム	050

01. 履修ガイド

編入生は2年という短い期間で卒業要件単位数を修得することが求められています。時間割作成にあたって、3年次、4年次の計画を次のとおり立てることをお勧めします。

- a. まず3年次は、できるだけ多くの単位履修・取得を目指してください。そうすれば、4年次には講義数が少なくなり、就職活動や卒業論文作成などの時間を確保することができます。なお、1年間で履修可能な単位数は48単位です。
- b. 4年次は、3年次で取得した単位を除いた残りの卒業要件単位数をみtasことに重点をおき履修してください。その際、4年次卒業を確かなものにするために、4年前期で卒業要件単位数をできるだけ履修・取得しておくことがのぞましいです。また、卒業要件単位数にプラスして複数の科目を履修するとよいでしょう。

■ゼミナールの履修

- ・経営学科では、ゼミナールという科目(選択科目)を設けています。
- ・ゼミナールは各自が関心を持ち、より深く研究したいと思う専門分野について、指導教員やゼミ仲間とともに研究する科目です。少人数で構成されるため、講義科目に比べて発展的な研究を行ったり、親密な人間関係が形成できたりと、大学生活において有意義な科目のひとつです。
- ・編入生は、3年次より2年間、同一教員のゼミナールに所属することになります。
- ・ゼミナールの所属決定は、各自の志望理由や成績等を考慮した上で、担当教員が行います(4月初旬予定)。ゼミナールを志望する学生は、所定の方法・期限を守り申込みを行ってください。
- ・なお、経営学科のゼミナールは2年次より開講されています。編入生でゼミナール所属が決定した者は、指導教員が認めた場合に3年次のゼミナール(研究ゼミナール3)と2年次のゼミナール(研究ゼミナール2)を同時に履修することができます。

■専門教育科目の履修

- ・ビジネススキル科目を除く専門教育科目については、特に選択必修の制限はありません。
- ・興味のある分野から重点的に履修しても、多くの分野から科目を幅広く選択してもかまいませんが、卒業するためには卒業要件単位数をみtasすることが必要です。

02. 履修制限

(1) 履修制限

O9B編入生には以下の制限がありますので、注意してください。

O9B編入生に適用	
1年間に履修できる単位数	<p>最大48単位 ただし、以下の科目は除きます。</p> <p>①「研究ゼミナール2」、「研究ゼミナール3」、「卒業論文ゼミナール」 ②「教員免許取得に係わる科目」のうち、「教科に関する科目」のうち「職業指導」ならびに「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」※</p>
学年による科目の制限	<p>3年次:1～3年次配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。</p>
科目履修上の制限	<p>■研究ゼミナール2、3を同時に履修することができます。 ■卒業論文ゼミナールを履修するためには、研究ゼミナール3を修得していなければなりません。 ■研究ゼミナール2、3および卒業論文ゼミナールは、同一教員で履修しなければなりません。</p>
必修科目	<p>「マーケティング入門」2単位、「簿記入門」4単位、「現代経営入門」2単位の合計8単位を必修とします。</p>
選択必修科目	<p>専門教育科目区分の「ビジネススキルA」および「ビジネススキルB」をのぞくビジネススキル科目分野より8単位を修得してください。ただし、8単位を超えて修得した単位は、12単位を上限に、選択科目として卒業要件単位に算入することができます。</p>
選択科目	<p>選択科目は、46単位とします。</p> <p>①専門教育科目区分の「ビジネススキルA」および「ビジネススキルB」を除くビジネススキル科目分野の修得単位数のうち、選択必修科目の8単位を超えて修得した単位は、12単位を上限として、選択科目の卒業要件単位に組み入れることができます。</p> <p>②自由科目制度により修得した単位は、12単位を上限として、卒業要件単位に組み入れることができます。</p>

※詳しい科目については教職課程履修ガイドブックを参照してください。

注) 編入生は「表現力基礎演習」、「入門ゼミナール」および「研究ゼミナール1」は履修することができません。

(2) 未開講科目

カリキュラム表にある科目でも、本年度の時間割に載っていない科目については未開講となります。

03. 卒業要件単位数（外国人留学生も共通）

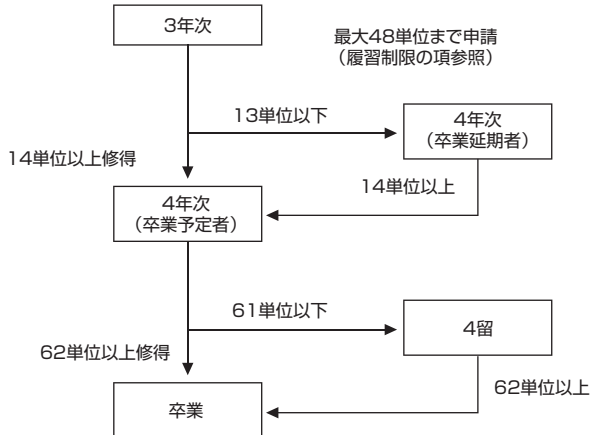
（1）卒業要件単位数

専門教育科目	必修科目	8単位	62単位	学士（経営学）
	選択必修科目	8単位		
	選択科目（自由科目12単位を含む。）	46単位		
2年以上在学				

（2）進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、年間48単位（研究ゼミナール2・3、卒業論文ゼミナール、教職科目等を除く。）を上限とする履修制限がありますので、計画的に修学してください。

— 進級および卒業までの流れ —



(3) 卒業要件単位の履修要件

① 必修科目

必修科目は、下記の表に示す3科目の合計8単位です。

区分	科目名	単位数
専門基礎科目	マーケティング入門	2
	簿記入門	4
	現代経営入門	2

② 選択必修科目

選択必修科目は、下記の表に示す通りです。それぞれの区分で決められている単位を修得し、合計8単位を修得しなければなりません。

ただし、8単位を超えて修得した単位は、12単位を上限に選択科目として卒業要件単位の算入されます。

区分	科目名	単位数	備考
ビジネススキル科目	簿記システムA 簿記システムB 販売管理A 販売管理B	各4	左記より8単位を修得してください。
	ビジネスコンピューティングA ビジネスコンピューティングB	各2	
	ビジネスコンピューティングC ビジネス外国語A ビジネス外国語B ビジネス外国語C ビジネス・プロトコル	各4	

③ 選択科目

選択科目は46単位となっています。

なお、選択必修科目の卒業要件単位数8単位を超えて修得した単位数は、12単位を上限として選択科目の単位として算入されます。

また、自由科目制度で修得した単位は、12単位を上限として卒業要件単位の選択科目として算入されます。

04. ゼミナール科目

ゼミナールの所属決定は、各自の志望理由や成績等を考慮した上で、担当教員が行います。なお、編入生でゼミナール所属が決定した者は、指導教員が認めた場合に3年次のゼミナール（研究ゼミナール3）と2年次のゼミナール（研究ゼミナール2）を同時に履修することができます。

科目名	配当年次	必/選
研究ゼミナール2	2年次	選択
研究ゼミナール3	3年次	選択
卒業論文ゼミナール	4年次	選択

05. 卒業見込証明書

「卒業見込証明書」は、3年次修了時点で既に卒業要件単位を14単位以上修得し、4年次において履修申請した科目を全部または一部修得すれば卒業できる者に対して発行します（5月上旬発行）。

※卒業見込証明書は、就職活動のため企業などに提出するものです。申請および発行は証明書自動発行機（本館1階、13号館1階）を利用してください。

06. カリキュラム

専門教育科目

(○で囲んだ単位は必修科目・一印は履修できない科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考				
				1年次	2年次	3年次	4年次					
				前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期		
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目	マーケティング入門	②	8		2						
		簿記入門	④		4							
		現代経営入門	②			2						
	ゼミナール科目	入門ゼミナール	—	8	—							
		研究ゼミナール1	—		—							
		研究ゼミナール2	4			2	2					
		研究ゼミナール3	4					2	2			
		卒業論文ゼミナール	8						4	4	論文指導(集中)とあわせて8単位	
		8 20	46									
	ビジネススキル科目	簿記システムA	4	8 20	46	4						
		簿記システムB	4			4						
		販売管理A	4			4						
		販売管理B	4			4						
		ビジネスコンピューティングA	2			2						
		ビジネスコンピューティングB	2			2						
		ビジネスコンピューティングC	4			4						
		ビジネス外国語A	4			4						
		ビジネス外国語B	4			4						
		ビジネス外国語C	4				4					
	ビジネススキルA	ビジネススキルA	2	8 20	46	2					◎	
		ビジネススキルB	2			2					◎	
	ソーシャルスキル科目	インターンシップ	2	8 20	46		2					◎
		ボランティア	2				2					◎
キャリアデザインA		2					2					◎
キャリアデザインB		2						2				
経営関連科目	経営管理論	2	8 20	46		2						
	経営組織論	2				2						
	経営史	2				2						
	現代企業論	2					2					

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週時間数				備考							
				1年次		2年次			3年次		4年次				
				前期	後期	前期	後期		前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	経営関連科目	経営倫理論	2	46			2								
		国際経営論	2			2									
		経営学総論	2				2								
		財務管理論	2				2								
		経営診断論	2					2							
		技術生産管理論	2				2								
		企業戦略論	2						2						
		事業戦略論	2							2					
		経営立地論	2						2						
		マーケティング論	2					2							
		ベンチャービジネス論	2						2						
		イノベーション経営論	2						2						
		ヒューマンリソースマネジメント	2							2					
		非営利組織の経営	2							2					
	会計関連科目	会計学総論	2					2							
		税理士簿記A	2			2									
		税理士簿記B	2				2								
		工業簿記	2					2							
		現代会計論	2					2							
		会計監査論	2					2							
		コンピュータ会計	2						2						
		国際会計論	2							2					
		原価計算論	2							2					
		財務会計論	2							2					
	経営情報関連科目	情報処理演習A	2				2								
		情報処理演習B	2					2							
		情報処理概論	2					2							
		インターネット論	2						2						
eコマース論		2						2							
経営情報論	2							2							

区分	科目	単位	最低単位数 卒業資格	週 時 間 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専 門 教 育 科 目	経営情報関連科目	情報管理論	2	46			2						
		ビジネス情報演習	2			2							
		マーケット情報演習	2				2						
		データ解析演習	2			2							
		市場調査演習	2				2						
		情報システム開発論	2			2							
		プログラミング演習A	2			2							
		プログラミング演習B	2				2						
	経済・法律関連科目	経済学	2				2						
		民法	2				2						
		商法	2				2						
		会社法	2					2					
		所得税法	2					2					
		法人税法	2					2					
		経営法務	2						2				
		税法概論	2					2					
	テーマ別研究科目	特殊講座A	2			2							
		特殊講座B	2			2							
		特殊講座C	2			2							
		特殊講座D	2			2							
		特殊講座E	2			2							
合 計			62										

注) 専門教育科目の履修要件

備考欄中の◎印は単位認定科目とし、3年次後期（冬期休業開始まで）までに申し出たものは、学科の判断に基づき、単位認定を受けることができる。

※週時間数欄の数字は、2＝週1コマ、4＝週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。